

# J A南彩中期3か年計画にかかるとのアクションプラン

<b>長期ビジョン（経営戦略）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上につとめます。</li> <li>○組合員・地域住民の暮らしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。</li> <li>○総合事業性を発揮するため、J A経営健全性の確立につとめます。</li> </ul>
---------------------	--

## ●農業者の所得増大・農業生産の拡大への挑戦

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		具体的な行動・目標			担当部署
	令和4年度	令和4年度の取組み実績	令和5年度	令和5年度上半期の取組み実績	令和6年度	
<b>①担い手資金支援</b> J A南彩独自の助成事業（J A南彩農業振興支援事業 農業振興目的積立金7,500万円）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者支援事業</li> <li>●園芸栽培振興支援事業</li> <li>●労働力軽減支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者支援事業 185万円</li> <li>●園芸栽培振興支援事業 353万円</li> <li>●労働力軽減支援事業 10万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者支援事業</li> <li>●園芸栽培振興支援事業</li> <li>●労働力軽減支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者支援事業</li> <li>●労働力軽減効率化支援事業</li> <li>●担い手要望支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規就農者支援事業</li> <li>●園芸栽培振興支援事業</li> <li>●労働力軽減支援事業</li> </ul>	営農支援課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者支援事業</li> <li>・園芸栽培振興支援事業</li> <li>・労働力軽減支援事業</li> </ul> （助成金額600万円×3ヵ年=1,800万円）	・助成金総額600万円	・助成金総額548万円	・助成金総額600万円 （2ヵ年計1,200万円）	・新規就農者支援事業 215万円 ・労働力軽減効率化支援事業 8万円 ・担い手要望支援事業 145万円 合計 368万円	・助成金総額600万円 （3ヵ年計1,800万円）	
<b>②担い手経営体への労働力確保対策</b> （無料職業紹介事業） ・無料職業紹介所・J A南彩あぐりサポート ・梨栽培サポーター・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」・援農ボランティアの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●求人・求職者募集</li> <li>●求人掲載申込募集</li> <li>●援農ボランティアの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●求人・求職者募集</li> <li>●求人掲載申込募集</li> <li>●援農ボランティアの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●求人・求職者募集</li> <li>●求人掲載申込募集</li> <li>●援農ボランティアの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●求人・求職者募集</li> <li>●求人掲載申込募集</li> <li>●援農ボランティアの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●求人・求職者募集</li> <li>●求人掲載申込募集</li> <li>●援農ボランティアの紹介</li> </ul>	営農支援課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A南彩あぐりサポート 求人登録32件 求職登録35人 採用27人</li> <li>・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人登録 12件</li> <li>・求職登録 12人</li> <li>・採用件数 3人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A南彩あぐりサポート 求人登録34件 求職登録37人 採用30人（累計）</li> <li>・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A南彩あぐりサポート 求人登録46件 求職登録49人 採用3人</li> <li>・農業ジョブ 求人企業17件 応募91人 採用12人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A南彩あぐりサポート 求人登録36件 求職登録39人 採用33人（累計）</li> <li>・J Aグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」</li> </ul>		
<b>③生産者の所得増大に向けた販売強化</b>	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物提案・作付拡大	営農支援課 生産販売課
業務用米 92ha、飼料用米等 350ha かぼちゃ栽培 100a、青パパイヤ栽培 1,700本 カラフル人参栽培 75a、アスパラガス栽培 50a	業務用米 70ha、飼料用米等 330ha かぼちゃ栽培 90a、青パパイヤ栽培 1,600本 カラフル人参栽培 65a、アスパラガス栽培 30a	業務用米 71.7ha、飼料用米等 405ha かぼちゃ栽培 85a、青パパイヤ栽培 1,448本 カラフル人参栽培 65a、アスパラガス栽培 30a	業務用米 81ha、飼料用米等 340ha かぼちゃ栽培 95a、青パパイヤ栽培 1,650本 カラフル人参栽培 70a、アスパラガス栽培 40a	業務用米 87ha、飼料用米等 377ha、かぼちゃ栽培 85a、青パパイヤ栽培 1,638本、カラフル人参栽培 6a（作付拡大中止）、（代替え：カリフラワー作付けなし）、アスパラガス栽培 55.5a	業務用米 92.6ha、飼料用米等 350ha かぼちゃ栽培 100a、青パパイヤ栽培 1,700本 カラフル人参栽培 75a、アスパラガス栽培 50a	
<b>④担い手確保対策（新規就農者支援）</b>	●県農林振興センターや行政と連携して、就農支援パッケージの策定及び支援体制の整備	●埼玉県担い手サポートセンターと協議開始	●県農林振興センターや行政と連携して、就農支援パッケージの策定及び支援体制の整備	●県農林振興センターや行政と連携して、就農支援パッケージの策定及び支援体制の整備	●県農林振興センターや行政と連携して、就農支援パッケージの策定及び支援体制の整備	営農支援課 生産販売課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者支援</li> </ul>	・新規就農者支援9件	・新規就農者支援9件	・新規就農者支援9件（2ヵ年計18件）	・新規就農者支援5件	・新規就農者支援9件（3ヵ年計27件）	
<b>⑤農業経営支援による所得増大の支援</b>	●令和6年度の導入に向けた視察等の実施	●県内先進J Aへの視察の実施	●令和6年度の導入に向けた視察等の実施	●令和6年度の導入に向けた視察等の実施	●青色申告支援、記帳代行の導入・支援の取組み	営農支援課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営管理支援事業（青色申告の記帳代行）に取組みます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色申告の記帳代行導入について研究・検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き研究・検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色申告の記帳代行導入について研究・検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察先J Aへの問い合わせ</li> <li>・システム業者との打ち合わせ</li> <li>・税務署への相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青色申告の記帳代行導入</li> </ul>	

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		具体的な行動・目標			担当部署
	令和4年度	令和4年度の取組み実績	令和5年度	令和5年度上半期の取組み実績	令和6年度	
<b>⑥農業用ドローンによる労働力支援及び生産拡大</b>	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	営農支援課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ドローンによる組合員の農作業の省力化や生産性の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麦防除 20ha</li> <li>・水稲除草 20ha</li> <li>・水稲防除 20ha 合計60ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麦防除 30ha</li> <li>・水稲除草 18ha</li> <li>・水稲防除 18ha</li> <li>・その他 7ha 合計 73ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麦防除 30ha</li> <li>・水稲除草 30ha</li> <li>・水稲防除 30ha 合計90ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麦防除 19.6ha</li> <li>・水稲除草 34.7ha</li> <li>・水稲防除 25.5ha</li> <li>・水稲追肥 10.1ha</li> <li>・その他 3.5ha 合計 93.4ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麦防除 40ha</li> <li>・水稲除草 40ha</li> <li>・水稲防除 40ha 合計120ha</li> </ul>	
<b>⑦銘柄集約肥料等（高度化成肥料やP B肥料）の取扱拡大によるコスト低減</b>	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大【9月末】	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	経済課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B 10銘柄 27,600袋の取扱い</li> <li>・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B 10銘柄 27,200袋の取扱い</li> <li>・高度化成 4銘柄 20,300袋の取扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B10銘柄 25,633袋の取扱い（前年比95%）</li> <li>・高度化成4銘柄 19,618袋の取扱い（前年比98%）</li> <li>・肥料価格高騰の影響による買い控えの影響も見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B 10銘柄 27,300袋の取扱い</li> <li>・高度化成 4銘柄 20,700袋の取扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B 10銘柄 2,935袋の取扱い</li> <li>・高度化成 4銘柄 4,428袋の取扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P B 10銘柄 27,600袋の取扱い</li> <li>・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い</li> </ul>	
<b>⑧Web受発注システムの導入</b>	●J A・全農間の受発注機能導入（肥料・農薬）	●J A・全農間の受発注機能導入（肥料・農薬）	●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注導入による効率化	●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注導入による効率化	●組合員からの受注およびT A C等のモバイル機能受注による効率化	経済課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット注文方式の対応による組合員の利便性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の実現を視野に、事前にJ A・全農間のシステムを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/28～本店経済課、春日部営農経済センター</li> <li>・8/4～他営農経済センター Web受注システム稼働</li> <li>・現在、システムの課題等を確認中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J Aと全農間のWeb発注について課題も多く、課題をクリアした中で組合員からのインターネット注文は令和6年度稼働を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J Aと全農間のWeb発注について課題も多く、課題をクリアした中で組合員からのインターネット注文は令和6年度稼働を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット注文開始と取扱い組合員の拡大</li> </ul>	
<b>⑨直売所の集客（リピート）率向上への取組み</b>	●特典付専用カゴの取扱いやタイムセール実施の取組み	●7月28日より特典付専用カゴの取扱い開始。（GC） ●6月13日より岩槻直売所をモデル店としてタイムセールを実施。	●特典付き専用カゴの利用者拡大及びタイムセール等の充実	●タイムセールは曜日セールに変更し実施中 ●各直売所、毎月イベントを実施	●特典付き専用カゴの利用者拡大及びタイムセール等の充実	直販事業課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客数目標</li> <li>岩槻農産物直売所 年間122,000人</li> <li>久喜農産物直売所 年間142,000人</li> <li>菖蒲グリーンセンター 年間524,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客数目標</li> <li>岩槻農産物直売所 年間120,000人</li> <li>久喜農産物直売所 年間140,000人</li> <li>菖蒲グリーンセンター 年間508,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特典付専用カゴの販売実績 70個</li> <li>・6/13～9/26までタイムセールを13回実施。10月以降は曜日セールにて対応中。</li> <li>・各直売所来店客数</li> <li>岩槻農産物直売所：122,823人、久喜農産物直売所：122,494人、菖蒲グリーンセンター：467,441人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客数目標</li> <li>岩槻農産物直売所 年間121,000人</li> <li>久喜農産物直売所 年間141,000人</li> <li>菖蒲グリーンセンター 年間516,000人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客数実績【9月末】</li> <li>岩槻農産物直売所 年間 65,807人</li> <li>久喜農産物直売所 年間 64,409人</li> <li>菖蒲グリーンセンター 年間251,985人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店客数目標</li> <li>岩槻農産物直売所 年間122,000人</li> <li>久喜農産物直売所 年間142,000人</li> <li>菖蒲グリーンセンター 年間524,000人</li> </ul>	

●「地域の活性化」への貢献

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		具体的な行動・目標			担当部署
	令和4年度	令和4年度の取組み実績	令和5年度	令和5年度上半期の取組み実績	令和6年度	
①准組合員直売所モニター制度の確立	●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●直売所、施設見学 ●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●久喜直売所見学 ●意見交換会の開催 ●アンケートの実施（久喜直売所について・梨カレーの試食について）	●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	総合企画課
・モニターを募集して意見交換会やアンケートの実施。	・年に2回以上の意見交換会を行います。	・11/1開催 准組合員12名参加	・モニターを再選定し、年に2回以上の意見交換会を行います。	・第1回8月29日開催 准組合員17名参加 ・次回令和6年1月開催予定	・モニターを再選定し、年に2回以上の意見交換会を行います。	
②認知症施策に対するJAの支援体制の構築	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催	●認知症サポーター養成講座の開催	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催	営農支援課
・認知症サポーター養成講座、ミニデイサービス、健康教室の開催（女性部と連携し、3年間で全支部実施）	・各項目を7支部中3支部実施	・コロナ禍のため実施を見送り	・各項目を7支部中2支部実施（2か年計5支部）	・女性部 宮代地区実施（9名）	・各項目を7支部中2支部実施（3か年計7支部）	
③組合員のデジタル技術向上に向けた支援	●JAスマートフォン教室等の開催	●JAスマートフォン教室等の開催	●JAスマートフォン教室等の開催	●JAスマートフォン教室等の開催	●JAスマートフォン教室等の開催	営農支援課
・JAスマートフォン教室等の開催	・取組件数 1団体	・女性部役員対象（11名）	・取組件数 1団体（2か年計2団体）	・蓮田市農業青色申告研究会（8名）	・取組件数 3団体（3か年計3団体）	

●地域密着型サービスの展開

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		具体的な行動・目標			担当部署
	令和4年度	令和4年度の取組み実績	令和5年度	令和5年度上半期の取組み実績	令和6年度	
①農業領域への取組み	●農業融資体制の構築・強化 ●貸出強化プランの実践 ●営農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	●農業融資体制は次年度以降に向け整備 ●貸出強化プランは実践し計画以上の成果となった ●TACと連携し同行訪問を行った ●農業者向け資産形成・運用セミナーはコロナ禍のため開催を見送り	●農業融資体制の構築・強化 ●貸出強化プランの実践 ●営農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	●TAC会議に参加し農業融資研修会を実施 ●農機展示会に参加し農業融資のPRを実施 ●TACに各管内融資拡充強化検討会議（隔月開催）に参加してもらい、情報共有を行っている。	●農業融資体制の構築・強化 ●貸出強化プランの実践 ●営農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	融資課
・農業融資新規実行額 ・農業融資残高 ・農業資金担当者育成プログラムへTACに参加 ・生産部会等でセミナー開催	・農業融資担当者の配置を検討 ・農業融資新規実行額 190百万円 ・農業融資残高 596百万円 ・農業資金担当者育成プログラムへTACに参加 ・生産部会等でセミナー開催	・農業融資担当は次年度以降に配置 ・農業融資新規実行額 165百万円（86.8%） ・農業融資残高 560百万円（93.9%） ・育成プログラムへのTAC参加は次年度以降に見送り ・生産部会等のセミナーは未開催	・農業融資担当者をローンセンターへ配置 ・農業融資新規実行額 225百万円 ・農業融資残高 619百万円 ・各管内でセミナーの開催	・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額 70百万円 ・農業融資残高 552百万円 ・セミナーは下期に開催予定	・農業融資担当者をローンセンターへ配置 ・農業融資新規実行額 230百万円 ・農業融資残高 643百万円 ・各管内でセミナーの開催	
②生活資金ニーズへの対応	●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの伸長 ●JAネットローンの取組強化 ●貸出業務本店集約化 ●Web広告の実施	●住宅ローン提携先との連携強化により計画以上の伸長 ●JAネットローンは貸出システム本格稼働後に取組強化 ●貸出業務の本店集約は次年度以降に持越し ●マイカーローンWeb広告を実施	●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの伸長 ●JAネットローンの取組強化 ●Web広告の実施 ●提携住宅業者との連携施策の実施	●住宅ローン提携先と引き続き連携強化 ●電子契約サブシステムは1年間の延期 ●Web広告は下期に実施予定 ●提携住宅業者との連携施策は検討中	●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの伸長 ●JAネットローンの取組強化 ●Web広告の実施 ●提携住宅業者との連携施策の実施	融資課
・住宅ローン新規実行額 ・Web広告効果	・住宅ローン新規実行額 3,300百万円 ・Web広告はマイカーローン以外を実施	・住宅ローン新規実行額 4,275百万円（129.5%） ・Web広告は検討の結果マイカーローンを実施	・住宅ローン新規実行額 3,600百万円 ・提携住宅業者と連携しJA住宅ローンのPRの実施	・住宅ローン新規実行額 1,772百万円 ・提携住宅業者と連携しJA住宅ローンのPRを引き続き実施	・住宅ローン新規実行額 3,900百万円 ・提携住宅業者と連携しJA住宅ローンのPRの実施	
③資産形成・運用ニーズへの対応	●LPCを活用した提案活動の実施 ●推奨資格の積極的な取得を促し人材育成 ●セミナーの開催	●資産形成サポートプログラム終了後も継続して実施 ●資産運用形成セミナーを開催（10/8）し15名の参加	●LPCを活用した提案活動の実施 ●推奨資格の積極的な取得を促し人材育成 ●セミナーの開催	・LPCと信連職員による同行訪問を実施 ●投資信託キャンペーンの実施 ・AFP養成研修、3級FP研修の案内	●LPCを活用した提案活動の実施 ●推奨資格の積極的な取得を促し人材育成 ●セミナーの開催	金融課
・投資契約残高等	・投資残高 1,500百万円 ・つみたてNISA獲得件数 500件 ・iDeCo獲得件数 10件	・投資信託残高 546百万円（36.4%） ・つみたてNISA獲得件数 148件（29.6%） ・iDeCo獲得件数 3件（30%）	・投資残高 1,500百万円 ・つみたてNISA獲得件数 485件 ・iDeCo獲得件数 20件	・投資信託残高 734百万円（48.9%） ・つみたてNISA獲得件数 198件（40.8%） ・iDeCo獲得件数 0件	・投資残高 2,500百万円 ・つみたてNISA獲得件数 485件 ・iDeCo獲得件数 30件	
④資産相談機能の提供	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	●コロナ禍のため、相続セミナーは開催を見送り	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	資金運用課
・相談会実施	・相談会開催の検討に向けた協議	・コロナ禍のため、相談会の開催は見送り	・各管内で年1回開催	・各管内で年1回開催	・各管内で年1回開催	
⑤全契約者・組合員に寄り添った活動の実践	●全契約者、組合員への3Q活動の実践	●契約者の年齢やひと保障の保障充足状況を踏まえ、対面と非対面の強弱をつけた3Q活動を実施。	●全契約者、組合員への3Q活動の実践	●組合員・利用者の安心と満足をお届けするため3Q活動を通じ、近況確認、保障内容の確認・点検を実施。	●全契約者、組合員への3Q活動の実践	共済課 推進課
・ライフプランにあわせた細やかなニーズ喚起と安心・満足の提供	3Q訪問（オンライン面談含む）による近況確認・あんしんチェック、3Qコール（電話による近況確認）活動実施率100%	・3Q訪問による近況確認実施率 99.2% ・3Qコールによる活動実施率 1.5% ・あんしんチェック実施率 40.0%	3Q訪問（オンライン面談含む）による近況確認・あんしんチェック、3Qコール（電話による近況確認）活動実施率100%	・3Q訪問による近況確認実施率 19.0% ・3Qコールによる活動実施率 0.4% ・あんしんチェック実施率 18.4%	3Q訪問（オンライン面談含む）による近況確認・あんしんチェック、3Qコール（電話による近況確認）活動実施率100%	